



俳句

横山容子 選

一切のもの遠くして蝉しぐれ
オカリナの人恋ふ音色原爆忌

伊藤律子
田坂淳子

頂きし桃の香りを供へけり

高塚フミ子

天空に伸びゆく勢ひ今年竹

加藤泰江

炎天下生簀の鯉の息荒く

森 隆子

空蟬の葉裏に縫い風に揺る

十河多美子

風まかせ雲の流るる今朝の秋

渡部喜生

遙かなる尾根往く白衣山開

三好清信

川柳

平尾 忠文 選

わが脳はまだら模様にあるごとし

加藤泰江

方便の嘘で繕うずる休み

越智幸子

ただいまと孫腹ペコでつまみ食い

越智富美子

打ち明けて打ちあけられて真の友

木原恵美子

生きてます感謝感謝の老い二人

尾崎康流

夏が来たテレビにラジオ甲子園

近藤美鶴

七夕の願う先には母がいる

三好清信

散歩する緑の風が背を押す

神尾 裕子

短歌

藤田虎雄 選

収穫の実入り確かむ朝明けに つまむ豌豆の
英の冷たし 森田 薫

吾が畑のトマトの傷を指摘する野菜買ふ子の
巖しい点検 森本郁子

梅雨に入り朝より目には見えぬほど霧雨降り
て樹々の喜び 坂根祐子

蒸す朝に遠く轟く雷と夏もたけなわ コラボ
する蝉 伊賀和子

床下が夏の住処か 日に四度鳴き声かけて老
猫帰る 佐伯利枝

乳飲み子を抱けば じじばば頬ゆるみ 触れ
て涼しくなりし手のひら 三好清信

空き箱にボツンと残る説明書 筆筒の上に軽
き思い出 越智幸子

爺ちゃんとなりて孫抱く甥っ子に腕白坊主の
面影残る 高橋容子

■俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・

川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを
振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月
1日までに郵送または提出してください。

応募先 〒793-8601

明屋敷164 西条市役所

シタイプロモーション推進課 広報係

TEL 0897-52-1204 (直通)

ふるさと産品通信

西条伝統工芸

だんじり彫刻

■問合せ

市庁舎新館2階 産品価値創造課
TEL0897-52-1380



まだまだ暑い日が続きますが、朝夕は涼しくなり、
少しずつ秋の気配を感じられるようになってきました。
気の早い祭り好きは、もう祭りのことが待ちきれ
なくなっているところではないでしょうか。

祭りの主役の一つであるだんじりは、前面・側面・
後面に物語が描かれた彫刻が施されています。その彫
刻は、だんじりそのものといえるほど重要な要素の一
つです。



▲彫刻を施す石水さん

石水彫刻所の石
水信至さんは、18
歳からだんじり彫
刻に携わり、38年
間、常に技術を磨

き続けています。それは、自分が携わっただんじりが
大切にされ、町内の誇りとなり、かき夫に勇ましく担
ぎ上げられる様子を見ると本当にうれしく、やりがい
を感じる一方、責任も強く感じるからだそうです。

これまでの功績から、えひめ伝統工芸士に認定され
ているほか、愛媛県知事表彰や地域伝統芸能大賞など
を受賞しています。今でも技術を磨くため、各地の祭
礼を見て回っているそうです。

石水さんが得意とする題材は、花鳥風月や武者絵な
どです。木材に下絵を描き、約100種類のノミを使っ
て立体的に彫り上げます。その武者や龍などは躍動感
があり、今にも動き出しそうです。

祭りの期間中は、市外・県外からも多くの観光客が
訪れます。皆さんも今年の祭りは、改めてだんじり彫
刻の素晴らしさを感じてみてはいかがでしょうか。